

横浜市長
山中 竹春 様

市民生活の向上に資する「特別市」の実現に向けた取組について

日ごろより、戸塚区における地域活動へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月に、「横浜市が目指す特別市」について、市長自ら戸塚区にお越しいただき、ご説明いただきますとともに、意見交換の場を設けていただきましたことに、深く感謝申し上げます。

市長からのご説明により、現在の指定都市制度には、二重行政や税制上の措置不足など横浜市からみて様々な課題があることが理解できました。

一方、区連会としては、特別市となることによって、区民の暮らしがどのように変わるのかを、区民にやさしく理解できるようにすることが必要だと考え、市に対して、新たな資料の作成を依頼しました。

今年に入り、大都市制度推進本部室と区役所、区連会長の3者で意見交換をしながら、説明資料を作成し、2月の区連会の場で、改めて区長からご説明をいただき、区連会としても理解が深まったところです。

特別市の実現に向けては、区民一人ひとりの正しい理解が必要であるという認識のもと、区連会としては、この資料を基に地域の実情に応じて情報共有等を行うこととしました。

これまで戸塚区では、各自治会町内会において、誰もが安心して住み続けられるまち・働き続けられるまちとするため、地域のつながりづくりや課題解決に向けた取組を、区役所と連携して進めてきました。

このようなまちづくりを推進していくためには、市民生活や地域をより良くし、ともに行動していく「人づくり」もあわせて、市と市民が一体となって推進していくことが重要であると考えています。

区連会としては、市民生活をより良くする一環として、特別市が実現するよう祈念しております。

横浜市におかれましては、特別市について広く周知に努め、市民の理解を得て、取組を進めていただくようお願いいたします。

令和5年4月21日
戸塚区連合町内会自治会連絡会
会長 菊池 賢児